

事務事業名		農業制度資金利子補給事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農政係	担当課長名	藤掛 広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 農地の有効利用					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8660	一般	6	1	2	農業制度資金利子補給事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S38年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市農業経営近代化資金利子補給条例 外					
	実施方法		直営		事業分類		融資・貸与事業				
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
農業経営近代化推進に必要な資金を借り受けた農業者が負担する利子の一部を補給することにより、農業経営の安定向上と農業構造改善に資するもの。			農業経営近代化資金及び基盤強化資金の貸付利子の補給(2%以内を実施)。補助金 406千円								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
利子補給を受けている農家数			戸	29	27	33	33	33			
農業制度資金利子補給額			千円	540	406	665	665	665			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
農家			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
市内の農家戸数			戸	3,549	3,549	3,549	3,549	3,549			
目的 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
農業用設備の導入等による農業経営の改善を図るとともに、負担の軽減を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
佐野市の農産物の産出額			千円	620	620	620	620	620			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
利用集積を積極的に行ってもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
農地貸借面積(公社保有面積)			ha	1,081.6	1,131.7	1,200.0	1,250.0	1,300.0			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	540	406	665	665	665			
	事業費計(A)	千円	540	406	665	665	665			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	540	補助金	406	補助金	665	補助金	665
	人件	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
のべ業務時間	時間	200	200	200	200	200	200			
人件費計(B)	千円	778	788	788	788	788	788			
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,318	1,194	1,453	1,453	1,453	1,453			

事務事業名	農業制度資金利子補給事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農政係
-------	--------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和38年に農業経営の近代化を推進するために必要な資金を借り受けた農業者が負担する利子の一部を補給することにより、経営利益の安定向上を図るため条例化された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	金利については、依然として低金利である。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 佐野市の農業の特徴は園芸作物であり、園芸作物を生産する上で必要な農業用施設導入のための融資に対する利子負担の軽減は、施設導入を促進し生産の改善・農業経営の安定に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 事業の対象は、農業後継者の育成と施設園芸の活性化による首都圏農業の振興という佐野市の農業振興にとって必要な事業である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 経営意欲と能力のある農業の担い手が経営改善を行いやすくするための利子負担の軽減であることから妥当である。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 農業者における融資希望はここ数年減少の傾向にあり、新たな資本投資を控えているのが、現状である。制度のPR等を実施し、周知を図ることは可能。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 基準金利が変動するため、コストも変動する。農業経営の安定を考慮すると補助額の削減は難しい。人件費については、必要最小限の経費で実施している。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 利子補給事業であり、受益者負担を求める性質のものではない。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	農業制度資金が廃止になれば本事業は終了となる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			